

令和3年度中小企業・小規模事業者 人材対策事業補助金

サプライヤー応援隊事業

「サプライヤー応援隊事業」は、中小企業・小規模事業者が、自動車産業の電動化等（CASE）の潮流を受けた適切な技術的対応ができるよう支援を行い、自動車産業の底上げを図ることを目的としています。

目標

- ・ 地場企業の生産性向上、ものづくり力の向上
- ・ 企業内人材の育成の拡充ともものづく人材の地元定着化
- ・ 地場企業の自動車部品参入企業の拡大
- ・ 付加価値の高い部品、新規部品の受注
- ・ 企業連携、参入による自動車部品企業の集積

目的

自動車産業は、100年に一度といわれる大変革期を迎えており、CASEと呼ばれる変化に対応するため、生き残りをかけた取組みが加速化されています。特に、電動化で自動車産業は抜本的に変わるとの見方もあります。このような中、（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）自動車エレクトロニクスグループは、経済産業省の補助事業の採択を受け、自動車産業における人材育成と指導者を企業へ派遣し、地域のものづくり力の向上、生産性向上、CASEに対応するための新たな技術・生産への取組みを支援します。

お問い合わせ

（公財）北九州産業学術推進機構
自動車エレクトロニクスグループ

FAX 093-695-3686

TEL 093-695-3685

MAIL car@ksrp.or.jp

事業の概要

1. 指導育成事業

(1) 若手・中堅技術者育成カリキュラム (実施日程：8月)

- ものづくりの基本知識、基本技能・知識の習得など

(2) リーダー・幹部育成カリキュラム (実施日程：9月)

- 生産システム、指導力、チームマネジメントの習得など

(3) 専門技術者育成カリキュラム (実施日程：10～2月)

- CASE・MaaSに対応する自動車の最新動向・最新技術の講義から構成部品、CAE・MBDなどの開発力強化など

- ・「EV車の技術と構造」
- ・「バッテリー関連技術について」
- ・「MBDとCASE対応について」
- ・「アフターコロナのコミュニケーションについて」

などを予定。

2. 現場派遣事業

- CASE対応、特に電動化に関わる部品の生産を望む企業を中心に支援をする予定。

- ・EV車に求められる軽量化部品・防音材生産などの参入支援
- ・CAE解析などMBD開発に向けた技術力の強化支援など

■派遣の流れ

